

## 総合型地域スポーツクラブについて

### 1 総合型地域スポーツクラブとは

- ・国は、地域のコミュニティの役割を担うスポーツクラブづくりに向けた先導的なモデル事業として、平成7年から「総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業」を実施した。
- ・国は、平成12年に策定した「スポーツ振興基本計画」において、生涯スポーツ社会の実現に向けて、全国の各市区町村に総合型スポーツクラブ（以下：総合型クラブ）を育成することを目標とした。（平成28年7月時点：創設準備中含め3,586クラブ）
- ・総合型クラブは、人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、多世代、多種目、多志向という特徴を持ち、地域住民によりスポーツの振興やスポーツを通じた地域づくりなど、多様な活動を自主的・主体的に行うスポーツクラブである。

### 2 国の動向

- ・第2期スポーツ基本計画では、総合型クラブの量的拡大から総合型クラブが自主的・自立的に運営され、持続的に活動するための質的充実を目標としている。
- ・そのための支援として、「登録・認証制度」の設置、「中間支援組織」の整備を推進するとしているが、現時点で、具体的な内容は示されていない。

### 3 総合型地域スポーツクラブに対する県の取組

#### (1) 総合型クラブの育成

- ・県は、(公財)滋賀県体育協会に広域スポーツセンター事業を委託し、研修会（平成28年度4回）、相談（平成28年度102回）などの取組を通じて、総合型クラブの支援を実施。

#### (2) 総合型クラブとの連携

- ・県は、県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会に地域コミュニティ促進事業を委託し、子どもや親子で楽しめるスポーツ実践プログラムを作成している。
- ・県は、9か所の総合型クラブに障害者スポーツ推進事業を委託し、各地域で障害者スポーツ教室を実施。（長浜市3、甲賀市3、高島市1、東近江市1、多賀町1）
- ・滋賀県競技力向上対策本部が実施している「パラスポーツチャレンジプロジェクト」事業では、「湖南市ちよいスポクラブ」から、知的障害者のスポーツ教室の運営にスタッフの派遣を受けている。

### 4 県内の総合型クラブの状況

#### (1) クラブ数

55クラブ（平成29年4月時点） ※未設置 日野町、甲良町

#### (2) 課題

- ・平成28年度総合型地域スポーツクラブに関する実態調査結果（スポーツ庁）によれば「クラブの現在の課題」について、高い順に「指導者の確保」「受益者収入による財源確保」「会員の世代の拡大」と答えており、ほぼ全国の状況と同じ課題意識を有している。（回答数38クラブ）（図1）
- ・多世代にわたるスポーツ振興や財源確保の観点からも、総合型クラブは積極的にスポーツ以外の関係者との連携を図り、総合型クラブの質の充実や安定的な経営に努める必要がある。

- ・特に「会員の世代の拡大」を課題としている総合型クラブが55.3%あり、世代を超えて地域のスポーツ振興を図ろうという意識が高くなっている。
- ・また、スポーツ担当部局の行政との連携についても全国に比べ、課題とするクラブの割合が多い。

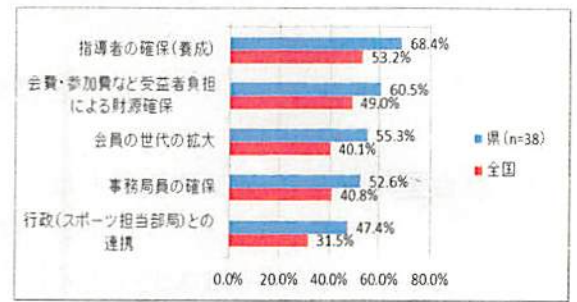


図1 クラブの現在の課題

### (3) 財政面の課題

- ・予算規模は、300万円以下の総合型クラブは32クラブで60.3%を占め、1,000万円以上は、12クラブで22.6%を占める。(表1)
- ・「事業費」「会費」「委託費」など、特定の財源が予算の5割を超える総合型クラブは27クラブで7割を超える。(回答数38クラブ)
- ・1,000万円以上の総合型クラブの主な財源は、自治体からの指定管理料等の委託費や事業実施の補助金およびスポーツ教室などの自主事業収入である。
- ・同調査では、「会費・参加費など受益者負担による財源確保」を課題とした県内総合型クラブは60.5%(全国平均49.0%)であり、会費・参加費など受益者負担による財源確保の意識が高いことがうかがえる。
- ・同調査の財政的自立の項目では、「寄付金、協賛金による財源確保」については7.9%(全国平均28.9%)、「委託事業等の事業収入による財源確保」について5.3%(全国平均27.2%)であるなど、全国と比較すると、外部からの財源確保に関する意識が低いことが課題である。(図2)

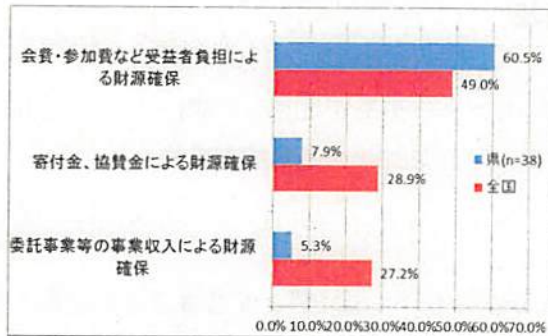


図2 財源確保に関する課題

予算規模	県(n=53)	全国
100万円未満	26.4%	29.2%
-200万円	22.6%	15.8%
-300万円	11.3%	10.4%
-400万円	9.4%	8.6%
-500万円	0.0%	4.7%
-600万円	1.9%	3.5%
-700万円	1.9%	2.7%
-800万円	0.0%	2.3%
-900万円	1.9%	2.1%
-1000万円	1.9%	2.0%
1000万円以上	22.6%	18.7%

表1 クラブの予算規模の比較

図1、2「平成28年度総合型地域スポーツクラブ活動状況調査」より

## 5 多様な財源を確保し、多様な活動を提供する県内総合型クラブの例

### ○NPO法人レインボークラブ 甲賀市(旧:水口町)

#### (1) 団体概要

- ・平成17年に設立され、NPO法人格を平成22年に取得している。
- ・スポーツを通じた地域の活性化や青少年育成に力を入れている。
- ・気功太極拳、バウンドテニス、卓球、バスケットボールなど、多世代が楽しめる教室を開催している。
- ・スキー教室などのイベントの他、文化教室、環境学習も行っている。



カワニナの放流の様子

#### (2) 会員数

240名(男性127名、女性113名)

※ 非会員含め、年間参加延べ人数13,116名

### (3) 人員体制

指導者数 16名

(内有資格者数)

- ・日体協公認アシスタントマネジャー 3名
- ・クラブマネジャー講習会受講者 3名
- ・スポーツ指導者NETしが登録者 2名
- ・障がい者スポーツ指導員 2名



キンボールの様子

### (4) 活動場所

柏木小学校 / 柏木ふれあい運動公園 / 柏木市民センター

### (5) 特色ある活動

- ・シニアを対象とした健康体操
- ・福祉作業所との連携による障害者を対象としたスポーツ教室（県委託）
- ・文化活動としての囲碁教室
- ・河川の水質改善によるホテル復活事業（企画提案による市補助）

### (6) 事業費

総額 3,121 千円

活動費の財源内訳 (図3)

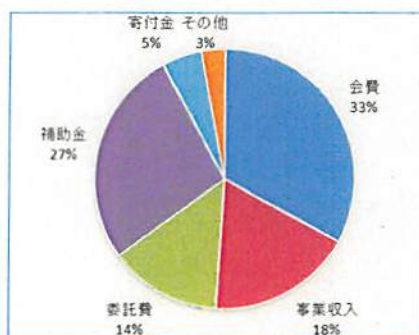


図3 活動費の財源内訳



竹炭づくりの様子

### (7) まとめ

- ・対象区（柏木小学校区）の人口が 4,200 人に対して年間延べ 13,116 名の参加を得ている。
- ・年間事業費は 3,212 千円と大きくないが、多様な財源を確保している。
- ・平成 28 年度にクラブの規定を変更し、障害者のクラブ参加を前提に会費を設定した。
- ・積極的に県や市と連携した取組を展開している。
- ・スポーツ活動だけでなく、文化や環境学習も実施し、幅広い事業展開をしている。

今後、先進的な総合型クラブの取組について、滋賀県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を通じて、情報共有を図り、県内の総合型クラブでの取組につなげる。